

平成30年度 事業計画書

平成30年1月1日から 平成30年12月31日まで

特定非営利活動法人高専プロコン交流育成協会

1 事業実施の方針

特定非営利活動に関する事業として、教育界、情報処理産業界はじめ一般社会人、学生などの不特定多数の層を対象として、全国高専プロコンの運営および国際プロコン大会の開催、情報産業界と高専教育界の連携を図るためのセミナーの開催などを計画する。また、第30回大会(平成31年)へ向けて記念事業等の計画を検討する。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日程	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込み額(千円)
高専プロコン運営事業	全国高専プロコンの運営(予選)	6月	東京都	30名	応募学生・教員ならびに審査委員700人	23,512
	全国高専プロコンの運営(本選)	10月	徳島県徳島市	40名	全国高専からのコンテスト出場学生・教員及び産業界からの参加者一般市民約1200名	
国際コンテスト運営事業	国際プロコン大会開催	10月	徳島県徳島市	4名	国外からの参加学生・教員30名	5,890
産学連携事業	高専プロコン連携シンポジウム	4月	全国(GI-Net)	15名	高専教職員など約300名	50
	情報産業界と高専教育界の連携を図るためのセミナー開催	11月	未定	2名	高専教職員・学生、大学生、企業など約160名	80
広報に関する事業	プロコンコミックの連載	/				1,200
	国際パンフレット制作	/				500

全国高等専門学校

第 29 回プログラミングコンテスト開催要項 (案)

「IT の未来はここにあるでないで!」

1. 主 催 一般社団法人 全国高等専門学校連合会 (国公立高専の連合組織)
2. 共 催 特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会 (NAPROCK)
3. 後援 (予定)
文部科学省, 総務省, 経済産業省, 警察庁, 徳島県, 徳島県教育委員会, 徳島市, 阿南市, 小松島市, 牟岐町, 徳島市教育委員会, 阿南市教育委員会, 徳島商工会議所, 阿南商工会議所, 小松島商工会議所, 一般社団法人コンピュータソフトウェア協会, 一般社団法人情報処理学会, 一般社団法人電子情報通信学会, 一般社団法人教育システム情報学会, 国立研究開発法人情報通信研究機構, オープンデータ流通推進コンソーシアム, 株式会社BCN, NHK, 四国放送, 徳島新聞社, 朝日新聞社, 読売新聞社, 毎日新聞社, 日本経済新聞社, 日刊工業新聞社, 株式会社徳島銀行, 阿南工業高等専門学校後援会, 阿南工業高等専門学校同窓会, 阿南工業高等専門学校助成会
4. 主 管 校 阿南工業高等専門学校
5. 応募資格 国公立高専の学生 (専攻科生を含む)
6. 協 賛 特別協賛・一般協賛 40 社以上を予定
7. 募集部門 パソコン等で実行可能なソフトウェア環境のもとで以下の 3 部門で競う
 - (1) 課題部門 「ICT を活用した地域活性化」をテーマにした作品
 - (2) 自由部門 自由なテーマで独創的な作品
 - (3) 競技部門 与えられたルールによる対抗戦
8. 募集期間: 平成 30 年 5 月 18 日 (金) ~ 5 月 25 日 (金)
9. 予選 (書類による審査)
日 時 平成 30 年 6 月 23 日 (土)
会 場 東京都立産業技術高専品川キャンパス (東京都品川区東大井 1-10-40)
10. 本選 (プレゼン・デモ等による審査, 競技は対抗戦)
日 時 平成 30 年 10 月 27 日 (土) ~ 10 月 28 日 (日)
会 場 徳島県立産業観光交流センター「アスティとくしま」
(〒770-8055 徳島県徳島市山城町東浜傍 1-1)
11. 表彰
 - (1) 課題・自由部門 (各々)
最優秀賞 優秀賞 特別賞
 - (2) 競技部門
優勝 準優勝 第三位 特別賞
 - (3) 最優秀賞および優勝チームには, 文部科学大臣賞, 情報処理学会若手奨励賞が授与される
 - (4) 協賛企業から選ばれたチームには, 企業賞が授与される
12. 備考
本大会と同時に NAPROCK 第 10 回国際プログラミングコンテストを実施
NAPROCK 公式サイト: <http://www.naprock.jp/>
高専プロコン公式サイト: <http://www.procon.gr.jp/>
高専プロコン Twitter 公式アカウント: @KosenProcon
高専プロコン 公式 Facebook ページ: <https://www.facebook.com/KosenProcon/>

NAPROCK 第 10 回国際プログラミングコンテスト 大会概要 (案)

(NAPROCK 10th International Programming Contest)

1. 主催 NPO 法人 高専プロコン交流育成協会
2. 共催 一般社団法人 全国高等専門学校連合会
3. 後援・協賛 全国高専プログラミングコンテストに準じる。
4. 応募資格 日本：国公立高専の本科生および専攻科生
(全国高専プログラミングコンテスト本選に参加する者)
大学生 (競技部門のみ募集, 予選を行なう場合がある)
海外：大学生 (各高専等が受入窓口となり支援する者, 選抜を行なう場合がある)
5. 募集部門 (高専プロコンに準じる)
パソコン等で実行可能なソフトウェア環境のもとで以下の 3 部門で競う。
 - (1) 課題部門 (「ICT を活用した地域活性化」をテーマにした作品)
 - (2) 自由部門 (自由なテーマで独創的な作品)
 - (3) 競技部門 (与えられたルールによる対抗戦)
6. 募集期間 2018 年 5 月 18 日 (金) ~ 2018 年 6 月 8 日 (金)
7. 審査方法・日程
方法：課題・自由部門はプレゼンおよびデモによる審査, 競技部門は対抗戦
日時：2018 年 10 月 27 日 (土) ~ 28 日 (日)
場所：アスティとくしま (〒770-8055 徳島県徳島市山城町東浜傍示 1-1)
8. 審査委員 全国高専プログラミングコンテストに準じる。
9. 表彰

(1) 課題・自由部門 (各々)	国際最優秀賞	国際優秀賞	国際特別賞
	Grand Prize	Second Prize	Special Prize
(2) 競技部門	国際優勝	国際準優勝	国際特別賞
	Champion	First-Runner-up Prize	Special Prize
10. 応募要項
<http://www.naprock.jp/> (NAPROCK 公式サイト)
<https://www.facebook.com/naprock2008> (NAPROCK Facebook ページ)
<http://www.procon.gr.jp/> (プロコン公式サイト)

11. 応募先・問合せ先

naprock-procon@tokyo-ct.net

12. 大学生のオープン参加について

- ・公募とするが，長岡・豊橋両技科大へは別途応募を打診する。
- ・高専チームに準じて応募書類の提出を求める（日本語）。
- ・大学内で指導教員を立ててもらうが，引率の必要はないこととする。
- ・優勝，準優勝の場合は規定通り表彰するが，特別賞の対象とはしない。
- ・参加チーム数に上限を設け，これを超える応募があった場合は予選を行なう。予選は高専プロコンと同時に行なう。
- ・大学生向けのアナウンスを別途用意し，Webに掲載する。

13. その他

- (a) 全国高専第 29 回プログラミングコンテストと同時開催とする。
- (b) 高専プロコン委員会および主管校が運営に協力する。
- (c) 高専が招聘元となる場合は別途招聘に関する実施要項を定める。

広報活動事業概要（案）

1. 事業の目的

公式ホームページ等により、本 NPO の活動を広く周知する。

2. 事業の概要

2-1 各事業に関する情報の掲載

本 NPO の事業の実施と連携して記事を掲載し、継続的な内容の更新を行う。

(1) プロコン事業・国際プロコン事業

- プロコン募集要項の公開・周知
- プロコン本選に伴う結果の迅速な公開
- マスコミ掲載などの資料整理
- プロコンコミックの連載

(2) 高専連携シンポジウム

- Twitter による意見・質問の集約
- アンケートの集計プロコン事業

2-2 高専プロコン30周年記念事業の準備

(1) 30周年記念誌（仮称）の取りまとめ

高専プロコン30周年として、過去の資料などの集計を行う。

- 大会の記録
- プロコン関係者の声（学生、審査委員）
- 高専プロコンその後（大会で注目された作品で実用化などに至ったもの）
- 報道資料のまとめ

(2) GO!GO!プロコンガール出版

- 2年目掲載終了をめぐりに単行本として出版を行う

2-3 その他

- コンテンツの見直し、SNS の活用を進める。

産学連携事業概要（案）

1. 産官学連携事業の狙い

ICTに関する産業界、官庁、全国の高等専門学校との連携を促すためのサポートを行う。内容はICT業界に関する講演会、産官学連携の実践講座、学校においてICT業界の業務内容、必要な知識、技術などについての説明を行う場のサポートなど、産官学の交流の場を設ける。GI-netによるインターネット中継を使った高専プロコン連携シンポジウムを行う。

- (1) NAPROCK 主催、あるいは共催の講演会
- (2) 地域の高専地区の近くで NAPROCK がサポートする交流の場の提供
- (3) 希望高専を募り、その高専で ICT に関する実践講座を行うか、サポートを行う。

このため産業界の方、学識経験者、実務経験者、高専 OB、高専教員 OB の方の協力を得ながら、広く高専学生、高専の先生、関係者の方等に有意な実践知識を持ってもらうことを狙う。

2. 事業内容

- 1) 高専プロコン連携シンポジウム実施
日 程：平成 30 年 5 月（予定）
内 容：GI-Net で全国の高専に発信

- 2) 情報産業界等との連携セミナー実施